

□ 要請番号 (JL13016B03)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
トンガ	G157 日本語教育		個別	交替 4代目	2年	・ 2017/1 ・ 2017/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育訓練省

2) 配属機関名 (日本語)

トンガ教員養成学校

3) 任地 (ヌクアロファ) JICA事務所の所在地 (ヌクアロファ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 0.2 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

1947年創立のトンガ唯一の教員養成学校であり、教員数は約21名、学生定員数は約200名。幼児教育、初等教育、中等教育課程があり2学期制(2～7月、8～12月)である。教職課程と2科目の専門課程を2年間履修し、卒業後は当該2科目の教員となる資格が得られる。現在、体育ボランティアを派遣中で、他の配属先の珠算ボランティアがそろばん授業(週1回)の補佐をしている。2013年12月に草の根・人間安全保障プログラムによる「日本語リソースセンター」が敷地内に開設された。学士導入に向けた制度移行のため新入生の受入を中断していたが、2016年から新制度にて学生の受け入れを再開した。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同校の日本語は高校教員養成コースの専攻科目の一つで、卒業生はほぼ全員、トンガの高校で日本語教師となることが期待されており、日本語の授業を行うのに十分な日本語、日本文化の知識などを備えた教師の養成を目指している。2002年の日本語クラスの開始からこれまで短期3名、長期3名の日本語教育隊員が派遣されている。制度移行が完了したばかりのため学生は1年生の1名のみであるが、来年度以降増加予定であり、日本語教師の養成に加え、新制度に沿ったカリキュラムの見直しが求められている。さらに開設した「日本語リソースセンター」の管理・運営を支援する必要があるため、後任の要請に至った。将来、現地日本語教師による日本語教育運営を実施するためにも、教員養成校での支援は非常に重要である。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 1.日本語と日本語教授法の授業(現在、週18時間程度)を行う。
- 2.教育実習中の巡回指導を行う。
- 3.島内の高校を巡回し、日本語授業を行う。
- 4.一教員として学校行事に参加する。
- 5.カリキュラムの見直しを行う。
- 6.日本語教師会(トンガ人と日本人の日本語教師で構成)に参加する。
- 7.日本語リソースセンターの管理、一般人への日本語教育を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

教科書(日本語部会作成「えがお、さくら」を使用)、みんなの日本語Ⅰ、外国人教師のための日本語教授法、パソコン、辞書等

4) 配属先同僚及び活動対象者

スタッフ21名(30代後半～50代男女、大卒)

主な対象者は日本語教育課程を履修する生徒

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
英語	その他	

【資格条件等】

[免許]：（日本語教授法）	[学歴]：（大卒） 備考：学歴社会であるため
[性別]：（ ） 備考：	[経験]：（実務経験）2年以上 備考：実践的な指導が必要なため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（15～33℃位）	[電気]：（安定）
[通信]：（インターネット可 電話可）	[水道]：（安定）

【特記事項】